



ふじえだ むしまるさんは南 加絵さん、他2人と一緒にです。

2018年8月7日 · 🌐

...

金曜日から続いた、永田のうちのスタジオと山川海をステージにした、3日間の合宿ワークショップ「夏の屋久島リトリート～五感解放ワークショップ～呼吸のリズムで動く」を終え、昨夜は、屋久島東部・安房にあるライブスペース「ジャングルキッチン近未来」での「屋久島舞踏ナイトvol.5」。大阪から初来島のダンサー・南加絵さんと、西部林道～大川の滝～湯泊温泉とドライブ、ライブ前のプチ観光だ。北半球一周踊り旅に出る前、3月末の「舞踏ナイトvol.4」以来、久々来訪のジャングルキッチンに夕刻到着し、ともかく、末期癌・ステージ4の店主・だっちゃんのお見舞い。体調は一進一退で、食欲が全くなくヤバイ時期もあったようだが、今は、下半身のむくみがひどく歩行困難ながらも、眼光は鋭く、修行僧のような精悍な裸体からは、生命エネルギーがほとぼしり、友人たちの厚いサポートを受けながら、店でのライブは続けていて、まずは、一安心。わずか4日前に決めた今回の舞踏ライブだったが、まずまずのお客さんの入りで、加絵さんのソロダンスに始まり、8・6 HIROSHIMA をモチーフにした僕の即興ソロ肉体詩「夢譚」、さらに、初めて聞く音源を使つてのふたりでの、初めての即興デュオ舞踏の構成で、夏の夜の夢を綴った。子供達も含めた、いつもの屋久島の観衆は、心地よい温度と湿度とで、あたたかく見守ってくれ、帰って来た実感ヒシヒシ湧いた夜だった。ライブ終了後、深夜に帰宅。今日は帰島1週間、初の休日、ひたすら眠り続けた。明日から稲刈り。助っ人大募集中！！

